

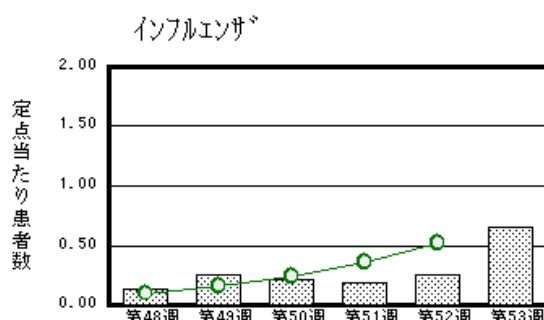
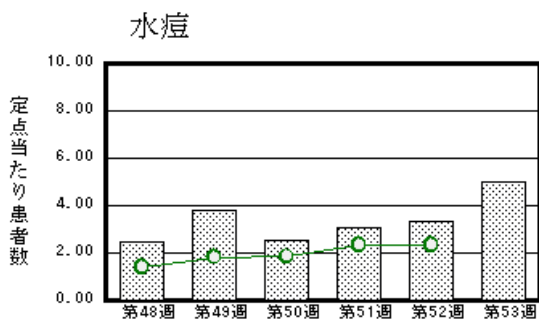
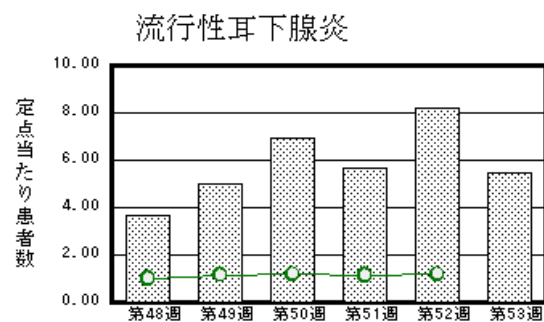
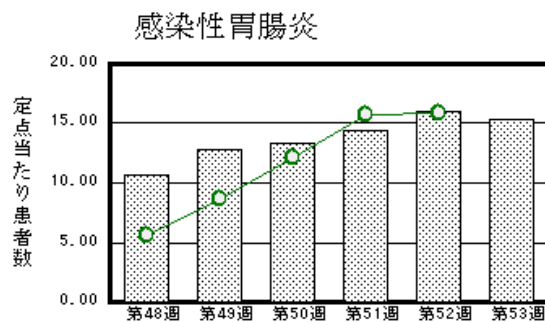
福井県感染症発生動向調査速報

<<平成16年>>

発行日：平成17年1月5日
 <週報> 第53週 (平成16年12月27日～1月2日) 発行：福井県福祉環境部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎338名(15.36名) 流行性耳下腺炎121名(5.5名) 水痘110名(5.0名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎22名(1.0名) インフルエンザ21名(0.66名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(338名) 流行性耳下腺炎(121名) 水痘(110名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(22名) インフルエンザ(21名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は338名です。定点あたり患者報告数は減少しました(16.0名 15.36名)。地域別にみると福井地区33.0名、奥越地区9.5名、丹南地区8.8名、二州地区7.67名の順となっています。
4. 【流行性耳下腺炎】報告数は121名です。定点あたり患者報告数は減少しました(8.23名 5.5名)。地域別にみると福井地区11.86名、丹南地区5.8名、奥越地区1.5名、二州地区1.33名、の順となっています。
5. 【水痘】報告数は110名です。定点あたり患者報告数は増加しました(3.36名 5.0名)。地域別にみると福井地区13.14名、二州地区2.0名、丹南地区1.4名、奥越・若狭地区1.0名の順となっています。
6. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は22名です。定点あたり患者報告数は減少しました(1.5名 1.0名)。地域別にみると奥越地区2.0名、丹南地区1.8名、福井地区1.14名、若狭地区0.5名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第50週号(12月6日～12月12日)要点

発生動向総覧	<第50週> 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週から増加している/その他最新動向 <11月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
注目すべき感染症	<インフルエンザ> インフルエンザ対策の基本は予防と適切な診断・治療である <先天性風しん症候群と風しん> 先天性風しん症候群は本年は第50週までに合計9例の報告となっている
病原体情報	インフルエンザウイルス2004/05シーズン/冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2004/05シーズン
速報	埼玉県におけるA/H1N1型インフルエンザウイルスの分離
海外感染症情報	コンゴ民主共和国(キンシャサ)での腸チフス流行
感染症の話	<デング熱> 現在日本国内での感染はないが、海外旅行で感染して国内で発症する例がある

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成16年 第53週 平成16年12月27日(月)～平成17年1月2日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(52週)
小児科 (22)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く) (32)	7 0.64		1 0.25			13 1.63	21 0.66	8 0.25	2398 0.52
	RSウイルス感染症	2 0.29		3 1			4 0.8	9 0.41	12 0.55	855 (50週)
	咽頭結膜熱	7 1.00					7 1.4	14 0.64	26 1.18	968 0.32
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	8 1.14			1 0.5	4 2	9 1.8	22 1.00	33 1.5	4571 1.50
	感染性胃腸炎	231 33.00	19 6.33	23 7.67	2 1	19 9.5	44 8.8	338 15.36	352 16	48150 15.83
	水痘	92 13.14	1 0.33	6 2	2 1	2 1	7 1.4	110 5.00	74 3.36	7111 2.34
	手足口病	4 0.57		2 0.67				10 0.45	22 1	1512 0.50
	伝染性紅斑	3 0.43	1 0.33					4 0.18	9 0.41	656 0.22
	突発性発しん	8 1.14		1 0.33		1 0.5	3 0.6	13 0.59	15 0.68	1900 0.62
	百日咳								1 0.05	56 0.02
	風しん									22 0.01
	ヘルパンギーナ	1 0.14						1 0.05		158 0.05
	麻しん(成人麻しんを除く)									16 0.01
	流行性耳下腺炎	83 11.86	2 0.67	4 1.33			3 1.5	29 5.8	121 5.50	181 8.23
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									18 0.03
	流行性角結膜炎									454 0.71
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	1 0.50						1 0.17		3 0.01
	無菌性髄膜炎	2 1.00						2 0.33	1 0.17	15 0.03
	マイコプラズマ肺炎	1 0.50						1 0.17	2 0.33	172 0.37
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									6 0.01
	成人麻しん									0

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第51週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成16年第53週 平成16年12月27日(月)～平成17年1月2日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満	5			11	1									6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満	3	1		22	10			8			1		1	12ヶ月未満								
1歳	2	1歳	1			65	28	1	1	5					6	1歳				1				
2歳		2歳	0	2		40	20								10	2歳								
3歳		3歳	0	3	2	28	20	4							23	3歳								
4歳		4歳		2	6	29	13	3	1						23	4歳								
5歳	3	5歳		1	3	29	12	1	1						19	5歳								
6歳	1	6歳		2	2	22	3								17	6歳								
7歳		7歳			2	11									6	7歳								
8歳		8歳			1	18	1	1	1						4	8歳								
9歳		9歳			2	9	1								3	9歳								
10～14歳		10～14歳		1	2	33									7	10～14歳								
15～19歳	1	15～19歳				10										15～19歳								
20～29歳	4	20歳以上		2	2	11	1								2	20～29歳					1			
30～39歳	6															30～39歳				1				
40～49歳	2															40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳								
70～79歳	1															70歳以上				1				
80歳以上	1																							
合計	21	合計	9	14	22	338	110	10	4	13			1		121	合計				1	2	1		
前期計	8	前期計	12	26	33	352	74	22	9	15	1				181	前期計					1	2		
当期間/前期	2.63	当期間/前期	0.75	0.54	0.67	0.96	1.49	0.45	0.44	0.87	0	***	***	***	0.67	当期間/前期	***	***	***	2	0.5	***	***	
増減数	13	増減数	-3	-12	-11	-14	36	-12	-5	-2	-1		1		-60	増減数			1	1	-1			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

